

森の会ニュース

会 員 だ よ り

*前を向いて歩こう♪

2002年度卒業 伊藤健人

私は現在、地域科学部卒業と同時に就職した旅行会社で働いております。愛知県内の勤務地も、法人旅行の営業という業務内容も、7年目を迎える今年もまったく変わっておりませんが、仕事に取り組む姿勢や態度といった部分では、かなり余裕を持って臨めています。

入社当初は慣れない営業職に戸惑い、大学生活で学んだ内容と直結しそうな職場に葛藤し、さらにはテロや不景気といった旅行業界を取り巻くマイナス要因に悲観的になることもありました。

しかし、気の持ちようで変わるものですね。何事も前向きに、というより、自分が向いている方向が常に前なのです。まずは自分が出来る最大限のことをやる。積極的に新しい仕事に取り組む。失敗したらそれ以上に取り返せばいい。派手な成功はありませんが、旅行会社の営業マンとして、地道に成長できているという自信は持っています。

営業職とは、顧客や取引業者とのコミュニケーションが第一です。考えてみれば、学生時代に印象に残っている活動も、ゼミ内での活発な討議や社会調査といった、コミュニケーション能力の習得につながっていました。そういう意味では、やはり地域科学部で学んだことは生きているのだと思います。

昨年来、景気の落ち込みは100年に1度とも言われております。実際に企業を訪問していると、まさに私が入社した当時を思わせるどころか、当時を上回る不景気なのだということを実感させられます。

私も現在、いい意味で今年は厳しいと割り切り、今だからこそ出来る2年・3年先を見据えた仕事に取り組もうと考えています。

卒業生諸兄姉、就職活動中の学生諸君、しばらく苦しい時期が続くかもしれませんが、何事も前向きに頑張りましょう。

*大切なことを学んだ4年間

2008年度卒業 大島麻由香

岐阜大学で過ごした4年間はあっという間に過ぎてしまいました。でも本当に中身の濃い充実した4年間だったと思います。この4年間の経験が今の私を作り、これからも大きく影響してくると思います。

特に、2年生後半から始まったゼミでは本当に多くのことを経験してその経験から学ぶことができました。私はもともと子どもの発達に興味があって、発達心理学を学べる土岐先生のゼミに入りました。入ってすぐ何も分からないまま夏合宿で高山へ行き、障がいを持った子どもたちとキャンプをしました。障がいを持った子どもたちと少しくらいなら一緒に遊んだことはあったけれど、キャンプをして長い時間一緒に過ごすことは今までなかったので、正直少し戸惑いました。しかし帰ってきて、「自分は何もできなかった。」という気持ちと一緒に「楽しかった。早くまた会いたいな。」「それまでにたくさん勉強しておきたい。」という気持ちになっていました。この高山での合宿は夏と冬の年2回行っているのですが、半年後にはまた会うことができるのです。楽しみにしていた次の合宿で、子どもたちに再会した時、会っていなかった間の発達がどの子どもからも本当によく分かりました。前回は話しかけてもなかなか返事がなかった子から返事が返ってきて、さらに自分からも話をしてくれるようになっていました。一人で好きなことをやり思いどおりにならないと怒っていた子が、友達を気遣う優しさを見せてくれました。この合宿を通して、子どもの発達していく力の大きさを知り、それを側で感じることでできる喜びを知りました。

この合宿やゼミでの勉強から、私は将来子どもの発達の役に立つことのできる仕事がしたいという思いが強くなり、保育士の資格を取る決心をしました。そんな中、4年生になって1年間一人の子どもの発達を追って卒論を書くため、先生に小さな保育所を紹介して頂きました。「子どもを真ん中に」一人ひとりの子どもの発達を考え、保育士も親もみんな一緒になって子どもを育てている、本当に温かな保育所でした。子どもたちはたっぷり愛情を受け、自分が好きで、友だちが好きで、本当にいきいきと生活しています。この保育所で私は保育士として何が大切なのか、その保育所の先生方の姿から教えて頂きました。これから、保育士として働いていく私にとって、かけがえのない大切な時間となりました。その場を提供して下さった土岐先生や、保育所の6人の先生方、元気いっぱいいつも笑顔を分けてくれた子どもたちに心から感謝しています。

この岐阜大学での経験を生かせるよう、これからも多くのことを経験して学ぶことを忘れずに、子どもの発達を支えることのできる保育士になりたいと思います。

「森の会」の事務担当の方をご紹介します

今年の6月より、「森の会」の事務を担当していただくこととなった目加田さんをご紹介します。

「初めまして。6月より地域科学部同窓会森の会の事務を担当することになりました、目加田恭子と申します。会員の皆様のお役に立てるように頑張りますのでよろしくお願いします。」

*学生たちは、いま…

岐阜大学地域科学部 近藤真庸 (健康教育論)

連休が明けてからのこの2週間は、ゼミ選択のために研究室を訪れる2年生の動きで、地域と全共の研究棟は活気にあふれています。8年前から、「主ゼミ」のみ必修(「副ゼミ」は廃止)となり、2年生後期からセミナーに所属(1学年の定員は4名)するカリキュラムとなったためです。

ここ数年は、学生有志が作成している小冊子『解体新書』(約100頁)が、すべての研究室について取材し、それぞれ先生とセミナーの先輩の生の声を紹介してくれているおかげで、2年生は、それを片手に、「気になる先生」にアポをとり、緊張しながら研究室の扉をたたいてくれています。私たち教員にとっても、この時期のキャンパスは新鮮な気持ちになって、大好きな季節なのです。

一方、4年生は、厳しいと言われる就職状況のなかですが、着実に「内(々)定」をもらっているようです。「セミナーでの討論やプレゼンが役に立った」「地域科学部という名称に、興味をもってくれたため、卒論やゼミのことをたくさん話せた」という声を聴くのはうれしいことです。

この3月の卒業時のアンケートにも、「少人数ゼミで、先輩や後輩と勉強できてよかった」「卒論指導を熱心にやってもらえてうれしかった」という声が多く寄せられました。学生と教員が協同で、セミナーを軸にしながら教育・学習活動を創り出している成果であり、地域科学部の特徴であると自負しています。

言うまでもなく、そうした礎は、みなさんたち卒業生が築いてくれたものです。教員の一人としてあらためて感謝しています。

1年生は、夏季集中の「社会活動演習」のグループも決定し、事前学習に入っています。

3年生は、先輩たちの就職活動の体験報告に興味深く耳を傾けながら、少しずつ緊張感を高めているようです。

ただ一つ気になるのは、この春に、就職していった卒業生のことです。不況のなか、「自己退職」という名の「解雇」を迫るような職場の実態も聞こえてきます。

そんなときは、絶対に泣き寝入りしないで、私たち教員に相談してください。研究室の扉を大きく開けて待っていますからね。

白樫先生、おひさしぶりです

2004年3月まで地域科学部で教鞭をとられた白樫先生からもお便りをいただきました。卒業生の皆さんの中には、白樫先生と北海道に行かれたことを懐かしく思い出していらっしゃる方もいるのでは。

白樫 久(農村社会学)

卒業生のみなさん、久しぶりです。もう一期生は30歳を超えましたね。結婚式ですとか、お子さんが生まれましたとかで、ゼミ生からは時々便りがありますが、皆さん元気で活躍されていて、とても嬉しく思います。

私、今年の3月で、大学生活が終わりました。60年安保の翌年、学生になったのですから、50年近くの大学生活になります。最後の12年は、岐阜と岡山でしたが、この二つの大学での生活は、本当に楽しかったです。北海道から本州に久しぶりに戻って、学生諸君と本州の地域社会と一緒に歩き、本当に勉強になりました。岡山は女子学生でしたが、彼女達と歴史のある倉敷の都市や、岡山近郊の農村を調査して歩きました。80年代に調査に入った倉敷の水島コンビナート地域の、その後の変貌は凄まじいものでした。1960年代から2000年に入った半世紀の日本の社会を見てきたのが私の大学生活でしたが、この50年の社会変動の論理をまとめなければなりません。どこまで出来るかわかりませんが、これから札幌に戻りまして、もう少し勉強したいと思っています。山登りと溪流釣りもおおいに楽しめます。

それにしてもこれだけ元気に楽しく過ごせたのは、あなたがた学生のお陰です。これから真っ盛りの人生、いろんな難しいことがあると思いますが、知性を働かせてがんばってください。

7月26日(日) 地域科学部同窓会総会・懇親会開催!

来たる2009年7月26日(日)、地域科学部同窓会の総会と懇親会を母校岐阜大学で開催します。

また、竹森正孝先生によるミニ講座を企画しています。ぜひご参加いただき、懐かしい同窓生や先輩・後輩および先生方との交流をお楽しみください。

昨年は懇親会で初対面だった方たちが意気投合して、懇親会のあと柳ヶ瀬まで出かけて盛り上がったグループもあったようです。なお、今年も在学生の皆さんもおさそいしています。

岐阜大学地域科学部同窓会総会・懇親会

- 場 所 岐阜大学全学共通教育棟1階大会議室
- 日 時 2009年7月26日(日)
 - 10:30～受付開始
 - 11:00 総会
 - 11:15～12:00
竹森正孝先生によるミニ講座
『大学の法人化と岐阜大学の課題(仮題)』
 - 12:00～懇親会 ※懇親会のみ参加もOKです
- 会 費 2,000円(在学生は1,000円)当日、受付にてお支払いください。

■ 申し込み方法

この会報に同封のはがきに必要な事項をお書き添えの上、
7月10日(金) 必着でご返送ください。
一人でも多くの皆さんのご参加を心よりお待ちしております!

同窓生のみならず、お変わりなくお過ごしですか。

岐阜大学は、今年創立60周年を迎えました。それを機に、現在の5学部6同窓会(医学部は医学科同窓会と看護科同窓会の2つ)が学部の垣根を越えた活動をととして母校との連携や協力を推し進める目的で、創立記念日の6月1日に岐阜大学同窓会連合会が新たに発足いたしました。つきましては、森の会の会長をさせていただいております私はこの連合会の副会長に、森の会幹事長の加地さんは監査に就任いたしました。ここでご報告申し上げますとともに、連合会へのお力添えも合わせてお願い申し上げます。

また、私たちの森の会は、事務職のいない同窓会として、これまで役員が休日に集まっては四苦八苦しながら事務作業を行ってまいりました。その困難さを、6月から地域科学部後援会と協力して事務員さんを雇う形で、解消する方向に動き始めました。会員のみならずとの連絡もとりやすくなるのではと期待しているところです。どうぞ、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

それでは、7月の総会・懇親会でお目にかかれまことを心待ちにしています。

(森の会 会長 浅井彰子)

※森の会ニュースではみなさまからの近況報告、ご意見・ご感想を募集しております。
メールまたは郵送にて下記宛先までお送りください。

連絡先

岐阜大学地域科学部同窓会 森の会
〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学地域科学部内
e-mail:mori2001@gifu-u.ac.jp

住所・氏名の変更なども
お知らせ下さい。